

大湾区情報 No. 42

グレーターベイエリア情報 発行：2022年8月16日



【今号のトピックス】

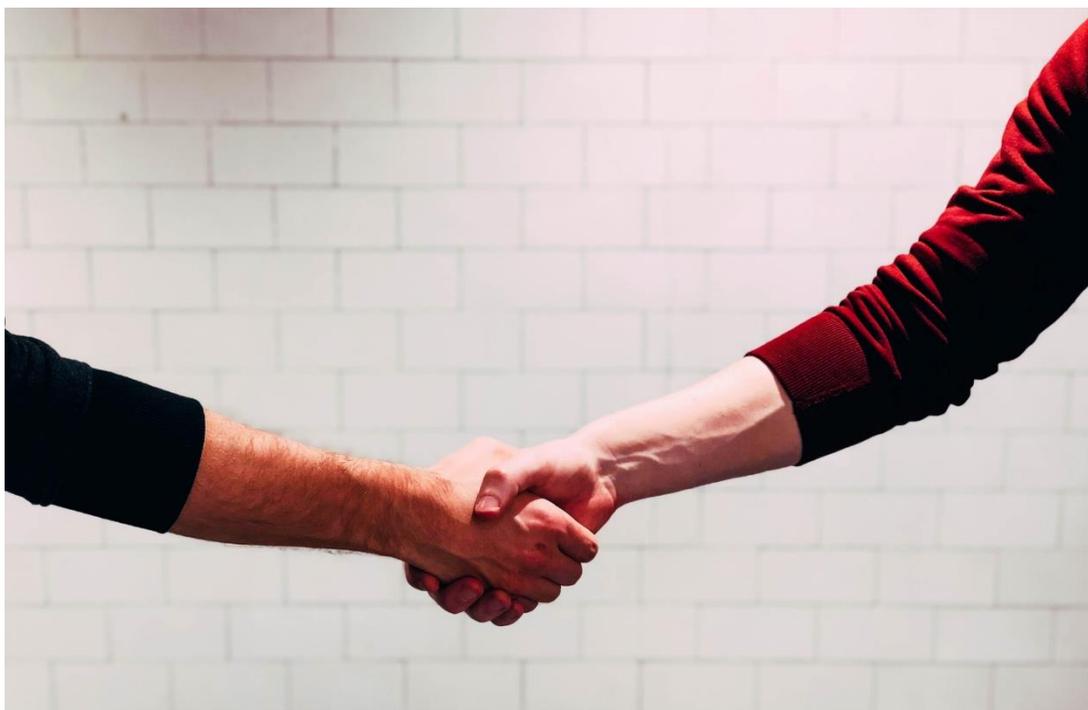
以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【横琴・広東・マカオ深層協力区の上半期 GDP224 億人民元に 金融産業は輝かしく発展】](#)

[【2022年フォーチュン・グローバル 500 に大湾区から 24 社がランクイン】](#)

[【「大湾区複合港」輸出入処理量 24 万 TEU 超 港湾事業環境の最適化「一挙“多”得」を実現】](#)

[【横琴・広東・マカオ深層協力区の上半期 GDP224 億人民元に 金融産業は輝かしく発展】](#)



先日、横琴・広東・マカオ深層協力区の上半期経済実績に関する「成績表」が発表されました。

協力区統計局が発表したデータによると、協力区は新型肺炎対策および経済社会発展を効率的に統括し、経済回復の基盤を継続的に強化しており、全体の発展傾向は安定しており前向きとなっています。上半期の地域 GDP は 223.93 億人民元で前年同期比 20.5% の増加、一定規模以上産業の付加価値は 3.59 億人民元で、第一四半期より 11.6% ポイントの増加、サービス業の付加価値は前年比 2.7% の増加で GDP 成長に 2.5% ポイント貢献しています。

第三次産業が上り調子で牽引 目を引く金融産業発展

2022 年上半期における協力区の 3 つの産業構成分布のうち、第一次産業が 0.02%、第二次産業が 10.8%、第三次産業が 89.2% を占めています。第三次産業の GDP への貢献率は 89.17% で、主に金融業が引き続き勢いを増しており、82.17 億人民元増加で前年比 11% 増、地域内 GDP の 36.7% を占めました。

現代金融業は当地区の四大主要産業の一つとして、協力区の発足以来、クロスボーダー金融サービスを継続的に革新し、マカオと横琴の金融産業のより深い連携を促すために、多くの措置やイニシアティブを試験的に実施してきました。主な施策としては、クロスボーダー資本循環を加速させるために、マカオの債券発行や外資による株式投資を支援する試験的措置の発行・実施、個人情報 の 国境を越えた認証を実現するために広東・マカオ間の越境データ認証プラットフォーム実施の調整・推進、及び跨境理財通（クロスボーダー・ウェルスマネジメント・コネクト）業務の試行作業の積極的推進などが挙げられます。協力区の収支の 90% 以上はマカオとの取引が占めています。

2022 年上半期、協力区における金融産業からの税収は前年同期比 31.3% 増の 75 億人民元近くとなり、同区の税収の 38.1% を占めました。中国および外資系金融機関の全区内における外貨建て預金残高は、前年同期比 3.0% 増の 1,668 億人民元、中国および外資系金融機関の外貨建て貸付残高は、前年同期比 38.5% 増、3 月末比でも 2.2 ポイント増の 1,644 億人民元で過去最高となりました。

企業数は横ばい、マカオ資本は引き続き増加

2022年上半期、協力区では新たに2,112社の企業が登録され、そのうち391社がマカオ資本の企業で、新規登録企業数全体の19%を占めました。6月末現在、同区には54,350社の企業があり、そのうちマカオ資本の企業は4,934社で、マカオ資本の企業数は全体の10分の1近くを占めています。この数字は、マカオ資本の企業が、協力区への投資に熱心であることが分かります。

協力区の発足後、横琴・マカオ両政府の関連部門が協力して、中国本土・マカオの投資家の「クロスボーダー処理・一地二登記」を促進する仕組みを構築し、協力区とマカオにサービスポイントをそれぞれ設け投資家に現地業務処理サービスを提供し、中国本土・マカオの投資家はボーダーを超えることなしに商業登記手続きを完了できるようにしました。

横琴サービスポイントは、協力区の総合サービスセンターにあり、協力区の商業登記部門と資格を有する提携法律事務所の協力により、中国本土の投資家のためにマカオ商業登記に関する相談と全手続きの処理を担当します。マカオサービスポイントは、協力区のマカオ事務所にあり、マカオ投資家のために商業登記に関する相談、受領、交付、証書発行などの一連のサービスを提供することを任務としています。国境を越えたビジネスサービスのさらなる促進措置の実施により、マカオ企業はより深く、包括的に、徹底的に協力区の開発と建設に組み込まれ、関与することになるでしょう。

【2022年フォーチュン・グローバル 500 に大湾区から 24 社がランクイン】



8月3日、フォーチュンチャイナは2022年のフォーチュン・グローバル500ランキングを発表し、今回、大湾区からは計24社がランクインしました。

今年のランキングを見ると、広東省の企業が昨年より1社多く17社、香港の企業が7社ランクインしています。大湾区のフォーチュン500企業の数はいずれも全体的に安定したレベルにあります。

今回新たにランクインしたのは、いずれも深圳の企業となっています。436位の比亞迪股份有限公司(BYD)と441位の順豊控股股份有限公司(SF Express)は、それぞれ自動車製造と総合エクスプレス物流サービスを主な事業としています。また、2021年12月に本部を深圳に移転した中国電子情報産業集团有限公司が、大湾区企業としてランクインしました。

今回のランキングに掲載された産業の分布から判断すると、大湾区の産業構造は、より最適化されたという特徴を示しています。今年のフォーチュン500に

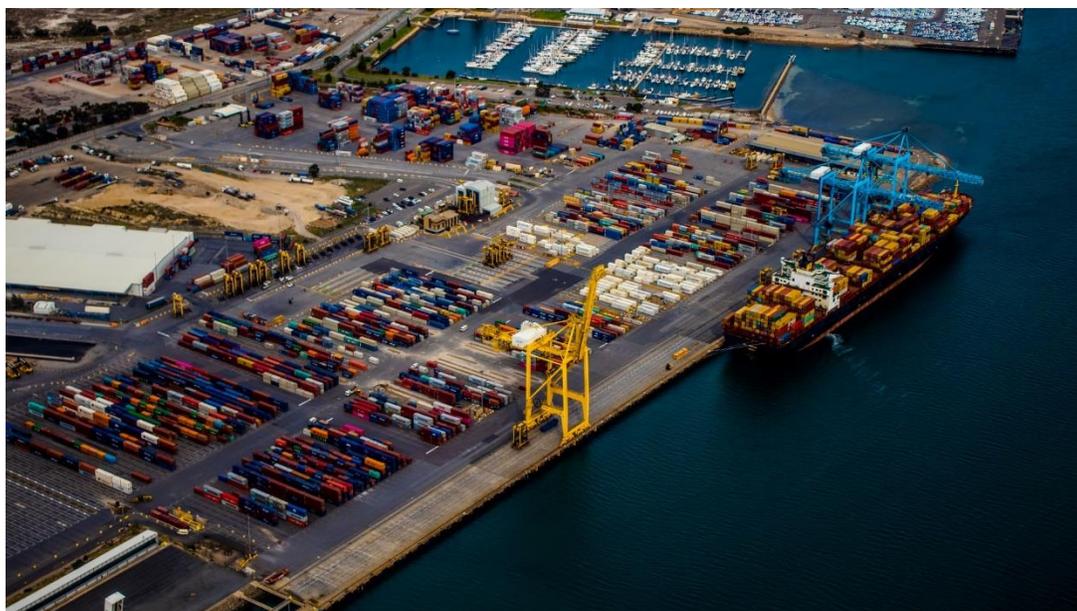
選ばれた大湾区の企業は、電子・電子部品、製造業、インターネット・通信、家電、銀行・金融、生物医薬、インフラ建設、不動産など幅広い分野に及んでいます。特に、製造業と電子情報産業は明らかに優位性があります。

都市別分布としては、今年のランクインした企業のうち 10 社が深圳を拠点としており、大湾区では第 1 位、次いで香港の 7 社、広州の 4 社、佛山、珠海からの 3 社となっています。

2021 年、世界経済の下振れ圧力が強まったにもかかわらず、テンセントホールディングス、碧桂園ホールディングス、招商局集团有限公司、美的集团股份有限公司、中国太平保険集団有限責任公司、広州市建築集団有限公司、深圳市投資ホールディングス、広州医薬集団有限公司、珠海格力電器股份有限公司など 9 社が前年度より順位を上げました（新規ランクイン企業を除く）。その中で、広州市建築集団有限公司の順位は昨年の 460 位から今年の 360 位に上昇し、大湾区企業の中で最も躍進しています。

統計によると、今年のフォーチュン 500 ランクイン企業の売上高合計は約 37.8 万億米ドルで、前年比 19.2% の大幅増（ランキング史上最大の増加率）、これは同年の世界 GDP の 5 分の 2 に相当します。一方、中国全国では今年 145 社がランクインしており、ランクインしている企業数では中国が引き続き世界でトップとなっています。

【「大湾区複合港」 輸出入処理量 24 万 TEU 超 港湾事業環境の最適化「一挙“多”得」を実現】



「大湾区複合港」プロジェクトは、2019 年の実施以来、7 月末までに計 21 航路が開通し、輸出入処理量は 24 万 TEU を超えました。統計によると、2022 年には「大湾区複合港」に新たに 6 航路が加わり、輸出入処理能力は前年比約 4 倍の 12.4 万 TEU となる予定です。

大湾区の発展を支援し、大湾区地域の物流フローを最適化するために、深圳税関は革新的な「大湾岸複合港」モデルを立ち上げて、深圳関税区内の「恵塩（惠州-塩田）複合港」を皮切りに、大湾区のハブ港からフィーダー港へと徐々に拡大し、大湾区におけるより効率的で便利な海上物流回廊を形成しています。

深圳税関港監督署の陳多課長は、「複合港プロジェクトの本来の目的は、大型国際貨物船が珠江水路に直接航行できず、舢舨で深圳港区に輸送しなければならないという問題を解決することであり、珠江デルタの企業は税関通過手続きのために 2 つの税関を通過せねばならず、結果として物流と時間コスト上昇の問題が発生していました。」と述べています。この問題に対し、深圳税関は率先して埠頭企業、船会社、現地交通管制部門、貨物所有企業を訪問し、水路通過阻害の全過程を理解するために綿密な調査を行い、大湾区直轄税関と何度も商談と交渉を行

い、クリエイティブに「深圳ハブ港+珠江沿いのフィーダー港」の「大湾区複合港」モデルを発足させました。

「大湾区複合港」モデルは、深圳港を中核とする大湾区の水運の総合的な効果を十分に発揮し、深圳ハブ港の国際海運資源と珠江デルタ沿いの港の後背地の製造業貨物源の綿密な統合を効果的に推進し、大湾区の港湾資源の統合と補完、要素の合理的分配を促進することができ、大湾区の港湾群の総合的な競争力を強化します。統計によると、このモデルにより、企業の通関コストを年間2,400万人民元、定期船会社のコンテナコストを年間4,500万人民元以上削減することが可能となります。同時に、貨物の平均積み上げ保管期間も5~7日から2日以内に短縮されました。

深圳税関は「大湾区複合港」プロジェクトを積極的に推進し、拠点の拡大、質、量の向上を図っています。水上輸送のフローの継続的な最適化、重い荷を運ぶためのバージ船の移動支援、そして鉄道と港との連結を開放し、「水上輸送+海路鉄道複合輸送」によって、陸路トレーラー輸送が低効率であるという問題を解決し、交通渋滞、港湾区域の混雑、排気ガス公害、交通安全上の危険、騒音公害などを効果的に緩和し、港湾のビジネス環境を最適化するという「一挙“多”得」を実現しました。

【参考資料】

- ・ [横琴・広東・マカオ深層協力区の上半期 GDP224 億人民元に 金融産業は輝かしく発展](#)
- ・ [2022 年フォーチュン・グローバル 500 に大湾区から 24 社がランクイン](#)
- ・ [「大湾区複合港」輸出入処理量 24 万 TEU 超 港湾事業環境の最適化「一举“多”得」を実現](#)